



甲斐往来

シリーズ山梨の駅

第一回 甲府駅

百年の歲月

歴史とドラマを刻む駅

一日の乗客数1万4千976人。甲府駅の利用客数は、山梨県にある駅の中では最も多い。ちなみにこの数字はJR東日本エリアの有人駅では220番目。トップは新宿駅で74万6千293人である。(JR東日本「乗車人員ベスト100(2003年度)より」)

甲府駅の誕生は1903(明治36)年。当時の出来事としては明治維新以来の大事だった。中央線の工事で最も困難だったのは、当時日本最長を誇った全長4千656メートルの笹子トンネル。甲州街道中最大の難所と言われていたところである。当然当時はまだ電化されておらず、走っていたのは陸蒸気、いわゆる蒸気機関車だった。しかし甲府・新宿間の開通により、笹子・小仏峠を越えて江戸まで3日かかった道程は、7時間の行程になり、革命的な変化を遂げた。

それから、中央線は3年後には塩尻まで開通。1928年(昭和3年)には富士身延鉄道(身延線)開通。1930年(昭和5年)には甲府・青柳間の山梨電気鉄道、1931年(昭和6年)には甲府・八王子間の電化が完成し、甲府駅は名実ともに山梨の中核、人々が行き交い、様々なドラマを生み出す「駅」として歴史を刻んできた。

現在、甲府・新宿間は1時間半。1日30往復の特急が走る。徒歩3日の道程から比べると48分の1の時間で往来できる。48分の1に短縮された往来が山梨に生み出したもの、また48分の1に短縮された往来で山梨から消え去ったもの。そのすべてを甲府駅は知っているのかもしれない。



contents

- 1 シリーズ山梨の駅 甲斐往来:「第1回 甲府駅」
- 2 特集 山梨県長期総合計画「創・甲斐プラン21」
- 12 山梨の旧道を訪ねて「大月市／大和村 笹子峠」
- 14 甲斐のひとインタビュー「よだ ひでき さん」
- 16 地球と遊ぼう「Vol.1 リサイクルってなんだろう？」
- 18 山梨の食材再発見 医食同源「葡萄」
- 20 知って役立つ暮らしの情報「水の事故・熱中症 編」
- 21 やまのくに 山の花「チングルマ」



【表紙の写真】

須玉町歴史資料館2階に残る古の教室。旧津金小学校の教室である。明治時代、山梨近代化の象徴である藤村式と呼ばれた擬洋風建築の校舎は、昭和40年代中ごろには使えなくなり廃校のように放置されていた。昭和63年に解体され平成元年に復元された。床や柱のほとんどは創立当時のものを使っており、現在は1階が文化財保存修復作業場と事務所、2・3階が須玉町歴史資料館になっている。

〒407-0322 山梨県北巨摩郡須玉町下津金2963
 TEL (0551) 20-7100 FAX (0551) 20-7105
<http://sutama.ed.jp/museum/index.html> E-mail stmh@sutama.ed.jp